

事例 2

建物賃貸借契約復活示談書

当事者 住所 ○○県○○郡○○町○○番地
氏名 賃貸人（甲）○○○○
住所 ○○市○○区○○通○丁目○番○号
氏名 賃借人（乙）○○○○

当事者甲と乙の間において次の通り示談した。

争いの実情

甲と乙とは平成○○年○月○日付賃貸借契約により後記建物を賃貸借していたが、乙は甲の承諾を得ずに令和○年○月○日から増改築工事を開始し同年○月○日に完成させた。この件を後日知った甲は無断増改築を理由に契約を解除したが、その後甲と乙との話し合いで家賃及び敷金を値上げして従前通り貸そうということとなり、次のとおり双方の意思が合致した。

第一条 甲と乙とは、従来の家賃及び敷金を次条のとおり増額することに合意し、乙が今後甲の承諾なくして増改築をしないことを約することにより、引き続き従前の賃貸借契約の内容（家賃及び敷金を除く）どおり契約する。

第二条 家賃は従来の金額○○万円に○万円を加えた額とし、併せて敷金を従来の金額に家賃の引き上げ率を乗じた額を従来の金額に加えた額とする。

第三条 甲と乙とは、増改築部分の所有権が甲にあることを確認し、また、乙が負担した増改築に要した費用相当額を○年で均等償還するものとし利息は付さないものとする。

第四条 本示談の効力は、本示談書締結の日から生ずる。

第五条 甲と乙とは本示談書に定めるもののほか、一切の債権債務を有しないことを相互に確認する。

上記のとおり示談が成立したので、本示談書二通を作成し、甲乙各自その一通を保有する。

令和○年○月○日

甲 ○○○○ 印
乙 ○○○○ 印

建物の表示

所在地	〇 県 〇 市 〇 区 〇 町
地番	〇 〇 番
家屋番号	〇 〇 番
種類	居宅
構造	木造瓦葺二階建
床面積	一階 〇 〇 平方メートル
	二階 〇 〇 平方メートル